

ぴーぷる

(株)デンソーファシリティーズ様
 (株)デンソーファシリティーズ従業員一同様
 立正俊成会名古屋教会様
 メイツ・フレンズ・あびっと保護者会様
 川合 きよ様
 尾崎 敬様
 藤城 利陸様
 花村 祥弘様
 牧寄 清一様
 井ノ花ホーム保護者会様
 近藤 唯志様
 倉本 三喜様
 写団翔様
 青山農園様
 ザ・ビッグエクストラ刈谷店様
 イオンスタイル東浦様
 マックスバリュ有松駅前店様
 匿名の方

**令和3年度
 賛助会加入のお知らせ**
 賛助会への入会を受け付けております。
 豊明福祉会の活動にご賛同いただける方はぜひ
 ご加入ください。
 個人会員：一口 2,000円
 法人会員：一口 5,000円

グループホーム寄付について
 令和2年度はグループホーム建設にあたり、
 多くの皆様から約1,000万円の多額のご寄付
 をありがとうございました。

決算情報
 社会福祉法人豊明福祉会の決算報告・
 現況報告書等については、福祉医療機構
 「WAM NET 社会福祉法人の財務諸表用
 電子開示システム」にてご確認ください。



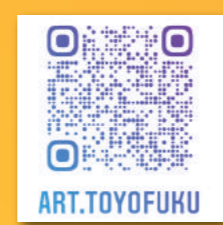
えみふるの家 開所しました!

皆様、いつも本当にありがとうございます。
 コロナ対策物品、お野菜をはじめ
 皆様からいただきました
 ご寄付は大切に使用させていただきます。

最新情報はこちらから



「ホームページ」、
 「ブログ」QR



アートの
 『instagram』QR



笑顔の
 『instagram』QR

秋まつりの中止について
 コロナウイルスの影響によりメイツ敷地内で行う予
 定でした中川町内会・豊明福祉会合同秋まつりは中
 止いたします。ご了承ください。

豊明福祉会 事業所一覧

生活介護事業所メイツ メイツ日中一時支援事業所 ☎0562-91-1890	ファイン相談支援事業所 ☎0562-85-5070	児童デイサービスふぁーもにー 日中一時支援事業所フレンズ ☎0562-91-6070	就労継続支援B型事業所あびっと 就労移行支援事業所あびっと ☎0562-85-5080
生活介護事業所フレンズ ☎0562-85-2033	えみふるの家沓掛(A・B) ☎0562-85-1491	みさき館 ☎0562-95-0362	ファインホームヘルプ事業所 ☎0562-85-5081

CONTENTS

- ・ 事業報告
- ・ えみふるの家開所
- ・ 事業所報告「今年の〇〇」
- ・ 職員、利用者インタビュー
- ・ 権利擁護研修報告

NO. 63

事業報告



社会福祉法人 豊明福祉会
理事長 石川 順一

皆さまこんにちは。世界中が大変な状況となっているコロナ禍から1年が過ぎました。私ども法人は、利用者の方々の安全・安心を最優先に細心の注意を払い運営しております。いろいろと大変なお願いをしているとは思いますが、今後ともご理解ご協力をお願い申し上げます。

皆様方にご多大のご支援をいただき、昨年度グループホーム「えみふるの家」が完成しました。すでに新しい住まいで10名の方が生活を始めております。また今年度はもう1棟建設する予定ですので楽しみにお待ちしております。

農福連携の一環で、近隣に借りた畑で玉ねぎなど多くの野菜の収穫ができ、たくさんの方々にご購入いただきました。今後はカリフラワーの袋詰め作業もJAさんとのコラボのもと進めてまいります。

あーとプロジェクトでは、昨年はなかなか活動がうまくできない中、ユーチューブを使った曲の配信、インスタグラムによる作品紹介等 SNSを使ってPRをしてまいりました。

来年度に、豊明市の児童発達支援センター事業を受託する予定です。初めて未就学のお子様をお預かりしますので、不安もありますが、私ども法人の強みを生かして頑張っております。

いずれにしても、早く新型コロナウイルスが終焉し、いろいろな活動ができることを心より願っております。

地域で安心して自分らしく暮らしていくために

グループホーム含む地域生活支援拠点の整備は、中期経営計画（2018年度から2021年度）の大きな柱となっています。中期経営計画の最終年を迎えた今年度、待望の「えみふるの家沓掛A・B」を開所することができました。それに合わせ、グループホームを法人本部の管轄としました。次年度の「えみふるの家沓掛C・D」の開設準備と今後の事業計画及びその推進に努めていきたいと考えています。

また、ファインホームヘルプ事業所では、サービス提供責任者を増員し新たなご利用者をお受けできるようになりました。今後行動障害のある方や喀痰吸引の必要な方へ支援をお届けできるよう体制整備に努めていきます。

これに伴い、今まで総合福祉会館内でヘルパー事業とともに実施してきた「日中一時支援事業所まるまる」を「日中一時支援事業所メイツ」へ統合しました。休日の地域での活動の充実と余暇活動の増進などにより「地域で安心して自分らしく暮らしていく」ための応援をしていくことができると思います。

特集 「えみふるの家」OPEN!

おしゃべり、楽しいっ!!



美味しい!!

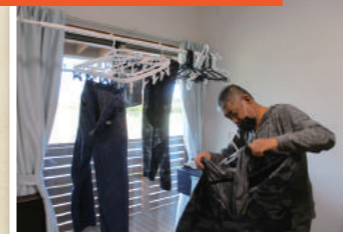


自室でパズル!



すごい集中力です

洗濯物も自分で干せるよ

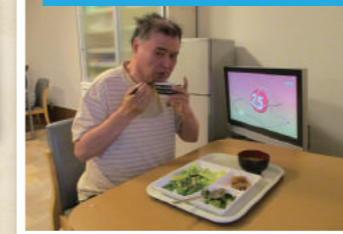


行ってきまーす



5月6日に沓掛町中川にグループホーム「えみふるの家 沓掛A・B」が開所しました。現在10名の方が新たな環境で生活をスタートされています。今回は「えみふるの家」の日常の一コマをご紹介します。

苦手な野菜にもチャレンジ!



みんなで食べると美味しいね



ベッドに座ってテレビを

見るのが大好きです



入浴後にストレッチ運動



休日のお楽しみ!

電車の動画や懐メロを検索中



もうすぐメイツに出動しまーす!



各事業報告

『今年の〇〇』

各事業所の今年1年の抱負をお伝えします。

大変な1年を乗り越えたらきっと明るい未来が待っているはず。

あなたにとって素敵な1年になりますように…

ファインホームヘルプ

支援スキルや体制の強化を進めていきます

コロナ禍において今までの生活は一変しています。そんな中でも安心して楽しく日々の生活が送れるように、状況を見ながら外出や居宅での支援を提供できるように今年度も努めてまいります。

また強度行動障がいや重度の身体障がいのある方に向けて、支援スキルや体制の強化を少しずつですが進めていけるよう取り組んでまいります。



グループホーム

「えみふるの家沓掛A・沓掛B」が5月6日にオープンしました!

5月6日より念願の新規グループホーム「えみふるの家沓掛A・沓掛B」がオープンしました。A・B各5名定員で合計10名の方が利用されています。初めて場所や生活リズムの変化に不安もありましたが、新しい生活を楽しまれています。利用者みなさんが安心して生活ができ、ホーム名のように笑顔がいっぱいに溢れる場所にしていきます。



メイツ

はたらく喜びを感じながら楽しく過ごせる体制づくり

今年度、みんなの“好き”が仕事になるように作業室体制を大きく変更しました。既存のぼかし、緩衝材、軽作業、喫茶、菓子製造に加え、新たに絵画や刺繍など表現する仕事に取り組み始めました。3年目の農作業では農地を拡大し、菓子製造については販路拡大を進めていきます。より一層、利用者・職員みんなではたらく喜びを感じながら楽しく過ごせるメイツを作っていきます!



あびっと

特性を活かした作業内容を拡大! アート作品展示に新設備が登場

今年、新たに「ケール」の袋詰め作業に取り組んでいます。体力仕事はちょっと苦手だけど、手先を使う仕事ならお任せ! 今後も「あびっと」の特性を生かした作業内容を拡大していきます。

「スマイル」ではピックアップチャールールを取り付け、あーとプロジェクトや地域事業所のアート作品を展示できるようにしました。6月以降順次展示をしていく予定です。



ふあーもにー

買い物活動を3つのグループに!

週の療育活動【買い物活動】を今年度は二つのグループに分け、事業所内での「買い物練習」「店番体験」をします!

活動室内にお店コーナーを設けて、それぞれのお子様のスキルにあわせて「お金の扱いやレジでのやり取りを練習」するグループ、「お店の人の役割をし、レジを使っておつりや商品の受け渡し体験」するグループで行います!



フレンズ

今年のスローガンが決定! 「あなたの好きを応援します」

今年からフレンズのスローガンが【あなたの好きを応援します~選ぶ楽しみ、感じる喜び】になりました。ご利用者が選択できる場面を増やし、喜びにつながる経験をし、ご利用者ご自身の発信を大切にしていきたいと考えています。ご利用者がしたいことをのびのびと行っていただく中で、皆さんが「たのしい!」と感じることを発見していきたいです!!



ファイン相談

新たに相談支援事業を受託したくさんの出会いが増えました

昨年度、新たに東郷町障がい児計画相談支援事業を受託し、25名の児童と関わりを持つことができました。以前は、18歳以上の方々との関わりが多かったのですが、年々児童との関わりが増え、現在110名を超える方の計画に携わっています。子どもの成長は早く、親御さんと一緒に確認し日々喜びを感じています。今後も沢山の出会いと皆さんの成長を楽しみにしていきたいです。



利用者インタビュー 教えて！利用者さん



たけだ めぐみ
竹田 恵さん
：「あびっと」

- A1. 部品の組立作業が得意です。特に難しいことや段階を踏んで行う作業が好きです。
- A2. 中学の頃から母親と一緒にしていたスイーツ作りです。家族の誕生日にスポンジからケーキを作ったりしています。
- A3. ファッションに興味が出てきたので、イオン等へ行って新しい服を買った時が嬉しかったです。
- A4. 一度しか行ったことがない納品の仕事を早く覚えたいです。体を動かす仕事が好きなので頑張りたいです。



すずき かなと
鈴木 奏翔さん
：「ふあーもにー」

- A1. ドラえもんや妖怪の本を見たりビリボに乗って回ったりすること。
- A2. ドラえもんや花かつぱを観ること。あとはテントに入って遊ぶことです。
- A3. 新聞紙を思う存分に破ったことが嬉しかったです。
- A4. みんなと一緒に楽しく遊びたいです。



利用者の皆さんにインタビューさせていただきました。

質問内容

- Q1. 「利用施設」ではどんなことをして過ごすことが好きですか？
- Q2. 好きなことは何ですか？
- Q3. 最近あった嬉しいことは何ですか？
- Q4. 今年度、頑張りたいことを教えてください。



さかぐち つよし
坂口 綱さん
：「フレンズ」

- A1. キーボードで音楽を聴いたり、マラカスを振ったりすることです。あとは、日当たりの良いベッドでのんびり過ごすことも好きです。
- A2. お気に入りのサングラスをかけること。唐揚げラーメン、アイスクリームなど、好きな物を食べることです。
- A3. カレーライスを食べたこと
- A4. グループホームの生活になれ、マイペースに過ごしたい。新たに関わる職員さんのことを知りたいし自分のことも知ってもらいたいです。



ふじしろ まなと
藤城満南斗さん
：「メイツ」

- A1. 畑かな。じょうろで水やりをするのが好きだよ。
- A2. テレビです。ナゾトレを見てるんだよね。お家の木の葉っぱをとることも好きです。枯れているんだよね。
- A3. 畑で仕事したことが楽しかったです。
- A4. 畑のお仕事頑張りたいです。水やりを頑張ります。



職員インタビュー 教えて！職員さん

職員が抱負を語ってくれました



周りの皆さんと協力して一生懸命勤務します

4月から入職しました原杏奈です。所属は「ふあーもにー」です。初めてする業務も多く、不慣れな点もありますが、周りの皆さんと協力して一生懸命勤務したいと思います。児童の皆さんのことを知って楽しく関わっていきたくです。よろしくお願いします。



この仕事にやりがいと誇りを感じています

相談支援の仕事始めて丸8年が経ちました。利用者様自身の暮らしの選び方を一緒に考えたり、困った時の解決方法を一緒に探したりできるこの仕事にやりがいと誇りを感じています。これからもたくさんの人との出会いを楽しみにしています。



相談員として、また人として更なる成長を

以前は病院で相談員をしていたのですが、ブランクを経て2年前から豊明福祉会で相談の仕事をしております。当時とは法制度が異なりますが、ご利用者様の生活に伴走させていただきながら、相談員として、人として色々と学び、成長していきたいと思ひます。



初めての福祉業界…日々勉強しています

今年度から正職員としてお世話になっております。初めての福祉業界勤務で、知らないことだらけで勉強の日々。また利用者さんの性格なども千差万別で、接し方などに悩む日々です。まずは他の職員の動きや接し方を観察し、自分の糧にしていきたいと思ひます。

【権利擁護研修報告】

令和3年2月に権利擁護の全体研修を社会福祉法人榎の木福祉会 かしの木の里 施設長 野崎貴詞さんに実施していただきました。昨年度は意思決定支援の基礎として、意思決定支援とはなにか？実際にどのように意思決定を行ったらよいか？を中心とした内容でした。

今年度は昨年度の研修の振り返りから始まり、応用として日々の生活の中で選択する機会を持つことの重要性やガイドラインについて学ぶことが出来ました。

障害者の虐待防止と権利擁護の推進を図る目的で全体研修を実施しましたが、昨年度と同じ講師の方に実施していただくことで研修内容の理解度が深まり、今後の支援に活かしていきたいと思ひます。

コロナ禍で十分に研修に参加できない状況で、野崎さんの研修を受講できることは非常にありがたいです。内容は理解できましたが、連続性のある研修内容を考え、前回の研修資料を読み返してから臨むとより学びが深まると思ひました。今後事業所でも活用していきたいと思ひます。

今回の権利擁護研修で意思を伝えることが困難な方の意思確認の大切さを再確認できました。日常生活の中で選択する機会を増やせるよう支援し、職員によかれ支援にならないよう、選択できる伝え方になるよう工夫していきます。「想いを聴く」ように心掛け、人を理解する困難さを感じながら支援していきます。

意思決定支援ガイドラインの概要はもう少し細かく説明を聞きたかったですが、事例を含め最先端の内容を知ることができました。またレスキューとエンパワメントモデルは、担当しているご利用者が今後直面しそうなケース。ご利用者の意思を把握し、生活がよりよいものになるよう新しい支援提案ができたらと思ひます。